

【おすすめ掲載内容】

- アテンダント立伝武多 今年も運行…1面
- 何かに頑張っている人たち……………2面
- 乗り物に乗って途中下車……………2面

季刊発行 第1号

津軽半島 THE TSUGARU-HANTOU TSUUSIN 通信

特定非営利活動法人
津軽半島観光アテンダント
推進協議会

Tel 037-0063
青森県五所川原市大町39 (津軽鉄道内)
電話 0173-26-7520
FAX 0173-26-7521
ホームページアドレス <http://t-ate.com>



アテンダント立伝武多 今年も運行

津軽半島観光アテンダントでは、今年も地元出身の著名作家である太宰治の立伝武多を作・運行することになりました。本格的に制作するようになって3年目の今回の題材は「パンドラの匣(はこ)」。この作品の最後にある「伸びて行く方向に陽が当たるようです」という文章。この「伸びて行く方向に陽が当たる場所」は魅力いっぱいの【食】・【景色】・【人】・【伝統】がある津軽半島そのものではないかと私達は考えました。

今まで経つても変わらない存在であり大きな心を持ち、その大きな心となるのが、津軽伝統を代表として100年以上に渡つて愛伝された金多豆藏(きんた・まめじよ)として表し、そんないつでも変わらない津軽にこそ、皆さまの心の奥底に眠る感動や情熱があり光と繋がっていくという願いと思いを込めました。私達が立伝武多を制作する過程は、毎日のブログやfacebookで更新しています。私達が立伝武多を制作する過程は、みにしていてくださいね!

そして季刊紙「津軽半島通信」も装いを新たに今回発行号より更にパワーアップした津軽半島の魅力満載の情報を提供してきます。津軽半島の旬な人、物、食等を県内外の方に知つて頂くことにより、沢山の方が「一度ならず何度も訪れてみたい」そして「住んでいて良かった」と感動を共有する事が出来る季刊紙にしていきますのでお気軽にご覧下さい。

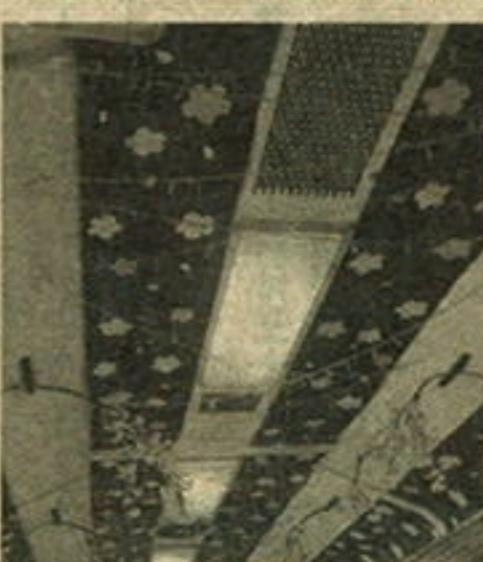
ぜひ一度は津軽半島へ遊びにきてみてください。



私達が【津軽半島観光アテンダント】です

せっかくお花見に来ていただいても、思い通りにちょうどよく満開とはいかないのが自然というもの。そんな皆さんに少しでも、列車内で春のお花見気分を楽しんでもらおうと、去年始まったのが、お花列車です。好評につき、今年も引き続き運行することになりました。

今年のテーマは、「夜桜」と「しだれ桜」。真っ黒い紙に桜の花を模したピンクの色紙をふんだんに飾り付け、ピカピカと輝く電飾は、舞い落ちる桜の花びらをイメージしてみました。天候不順と鳥による食害により、ほとんど花のなかつた昨年と異なり、みごとに満開となつた今年の金木桜まつりでしたが、列車の中と外、そして跨線橋の飾り付けと、今年は例年にも増して、桜いっぱいの春を皆さんにお届けすることができました。



「お花列車」運行しました!

●アテンダントの仕事●

この春もお花見のため、沢山の団体の方に来ていただきました。そんな時に重要なのは、なつてくるのが、誘導のお仕事。大型バスで駅に到着した皆さんを、安全に列車まで案内します。

しかしこの時にやつて来る団体、一つの団体とは限りません。特に人の多い時期になると、2、3団体が一緒に乗り合わせることがよくあります。そんな時、アテンダントはまず、早めに駅に行き、添乗員さんと打ち合わせをします。乗車する列車は何時に入線し、何両目に席を用意しているのか等説明をしてから、お客様の先頭に立つて歩き、車両までご案内します。

